

研修タイトル	<b>【サテライト】 OracleDatabase12c:管理ワークショップ</b>				
研修実施概要	Oracleデータベースに関するアーキテクチャから、大規模データベースを管理するために必要となるパフォーマンス監視方法や、セキュリティ設定(ユーザー管理、監査)、バックアップやリカバリ方法を学習します。実習では、データベース稼働状態でのバックアップ取得や回復、稼働状況の監視とパフォーマンス問題の特定とその解決といった一連のデータベース管理作業を行います。				
研修コード	S045	実施開始日	2019 年	5/20~5/24	5 (日間)
目 標	1. Oracle Database 12cのアーキテクチャが理解できる。 2. ユーザーおよびスキーマの管理ができる。 3. データベースの基本的なバックアップおよびリカバリの実行ができる。				
受講料(税抜)	¥357,000	時 間 帯	9:20~17:30 (休憩1時間含む)	定 員	3名
前提条件	SQL文の基礎知識(DML文、DDL文)があること。			ジャンル	データベース技術関連
実施内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>Oracle Databaseアーキテクチャの確認</li> <li>Oracle Databaseの管理ツール</li> <li>データベース・インスタンスの管理</li> <li>Oracleネットワーク環境の構成</li> <li>ユーザー・セキュリティの管理</li> </ul>		<ul style="list-style-type: none"> <li>データベース記憶域構造の管理</li> <li>Oracle Database監査の実装</li> <li>バックアップおよびリカバリの概念</li> <li>リソース・マネージャの使用</li> <li>Oracle Schedulerの使用</li> </ul>		

研修タイトル	<b>【サテライト】 OracleDatabase12c:バックアップ・リカバリ</b>				
研修実施概要	リカバリ要件の評価、バックアップおよびリカバリ手順の適切な計画の立案について学習します。Recovery Manager(RMAN)を使用したバックアップの作成方法やリカバリ操作の実行方法、Oracle Flashback Technologiesを使用したリカバリなど、Oracle Database 12c のバックアップ・リカバリに必要な知識を、障害シナリオに基づいた実践的な実習を通して学習します。				
研修コード	S043	実施開始日	2019 年	9/2~9/6	5 (日間)
目 標	1. RMANを使用してバックアップ作成、およびリカバリ操作を実行する。 2. 効率的なバックアップおよびリカバリ手順を立案、実行する。				
受講料(税抜)	¥357,000	時 間 帯	9:20~17:30 (休憩1時間含む)	定 員	3名
前提条件	「OracleDatabase12c管理ワークショップ」コースを修了。またはデータベース管理に必要な基礎知識があること。			ジャンル	データベース技術関連
実施内容	第I章:導入および構成 第II章:バックアップ 第III章:リカバリ		第IV章:その他のテクノロジー 第V章:実習		

研修タイトル	<b>【サテライト】Symfowareデータベース構造と定義</b>				
研修実施概要	Symfoware Serverの構造および構築時の基本となる手順を、講義と実習によって学習します。				
研修コード	S032	実施開始日	2019 年	6/13~6/14	2 (日間)
目 標	1. Symfowareデータベースのシステムファイル構成を理解する。 2. Symfowareデータベースの物理構造、格納構造、論理構造を理解する。 3. Symfowareデータベース構築時の基本となる手順を理解する。				
受講料(税抜)	¥80,000	時 間 帯	9:20~17:00 (休憩1時間含む)	定 員	3名
前提条件	「データベース基礎」(UBD03L/UBD21L)を修了、または基本的なSQL文(DML)およびRDBの概要を理解していること。			ジャンル	データベース技術関連
実施内容	第1章 Symfowareデータベースの概要 第2章 Symfowareデータベースを構成するシステムファイルとアーキテクチャ		第3章 Symfowareデータベースの構築 ~インストールからシステムファイルの作成まで~ 第4章 Symfowareデータベースの構築 ~起動からデータベースの創成まで~		